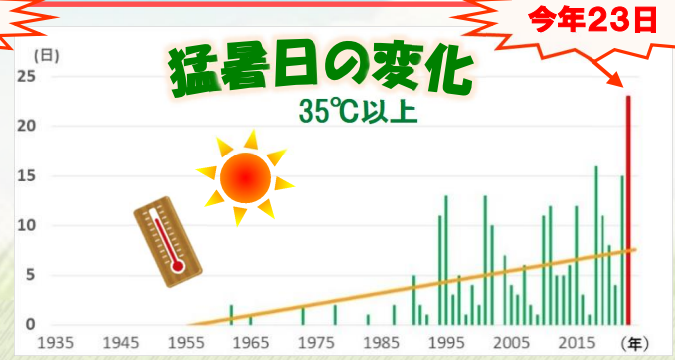




今年の猛暑日・真夏日 過去最多!

宇都宮地方気象台の観測では、最高気温が35℃以上である「猛暑日」と、最高気温が30℃以上である「真夏日」の両方が、過去最多日数となりました。

今夏の猛暑は異常気象であるとされました*が、厳しさを増す気候変動の影響により今年の気温が日常となるかもしれません。
(* 気象庁 異常気象分析検討会)



— : 長期変化傾向(トレンド) ※気象庁データから作成

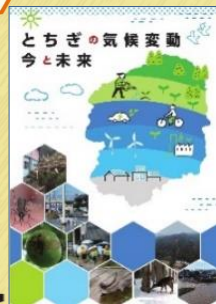
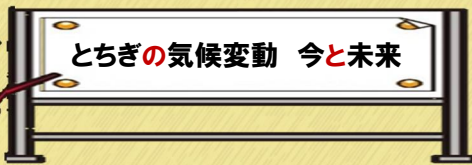
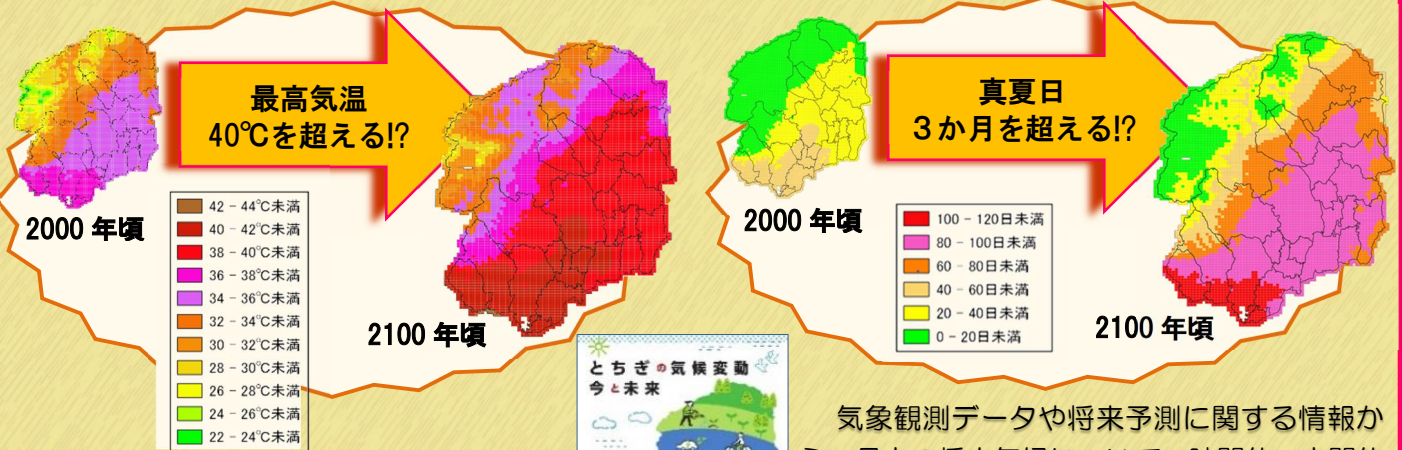
今夏、宇都宮地方気象台の観測では、真夏日は81日、猛暑日は23日を記録し、過去最多を更新しました。また、宇都宮の観測点(宇都宮地方気象台)が現在の場所に移転した1935年以降の約90年間をみると、真夏日は約30日も増加しています。気候変動により、夏の厳しさは増しており、熱中症リスクが非常に高まっています。

さらに

栃木県の将来予測では、夏が長く厳しくなる!?



栃木県が行った「気候変動影響評価」では、今後、追加的な温室効果ガスの排出抑制対策を行わない場合、更なる気温の上昇が予測されています。2100年頃の栃木県では、地域によっては、最高気温が40℃を超え、30℃以上となる真夏日が3か月以上観測される可能性があります。



気象観測データや将来予測に関する情報から、県内の将来気候について、時間的・空間的に詳細な解析を行い、予測マップで「見える化」しました。ぜひ、ご覧ください。

とちぎの気候変動 今と未来

栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



X (旧 Twitter)